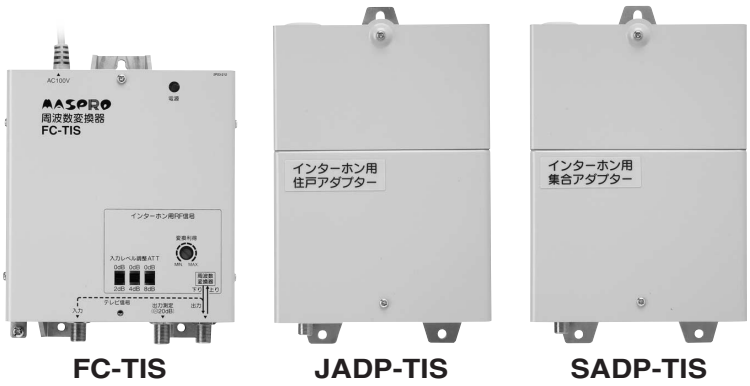
MASPRO

屋内用　テレビ共同受信インターホンシステム

周波数変換器
FC-TIS
インターホン用住戸アダプター
JADP-TIS
インターホン用集合アダプター
SADP-TIS
AC100V方式

テレビ共同受信インターホンシステム用　取扱説明書

テレビ共同受信の同軸ケーブルを利用した，集合住宅用インターホンシステムに使用する機器です。アイホン㈱製インターホンと接続できる専用のシステムです。



FC-TIS　JADP-TIS　SADP-TIS

リニューアルで資産価値の向上

MASter of PROduction
生産の覇者

高性能・高機能

施工コストを大幅にダウン

集合住宅のテレビ共同受信用の同軸ケーブルを利用しますから，インターホン幹線や住戸へのインターホン配線引込み工事が不要です。（特許出願中）

インターホンシステムと接続可能

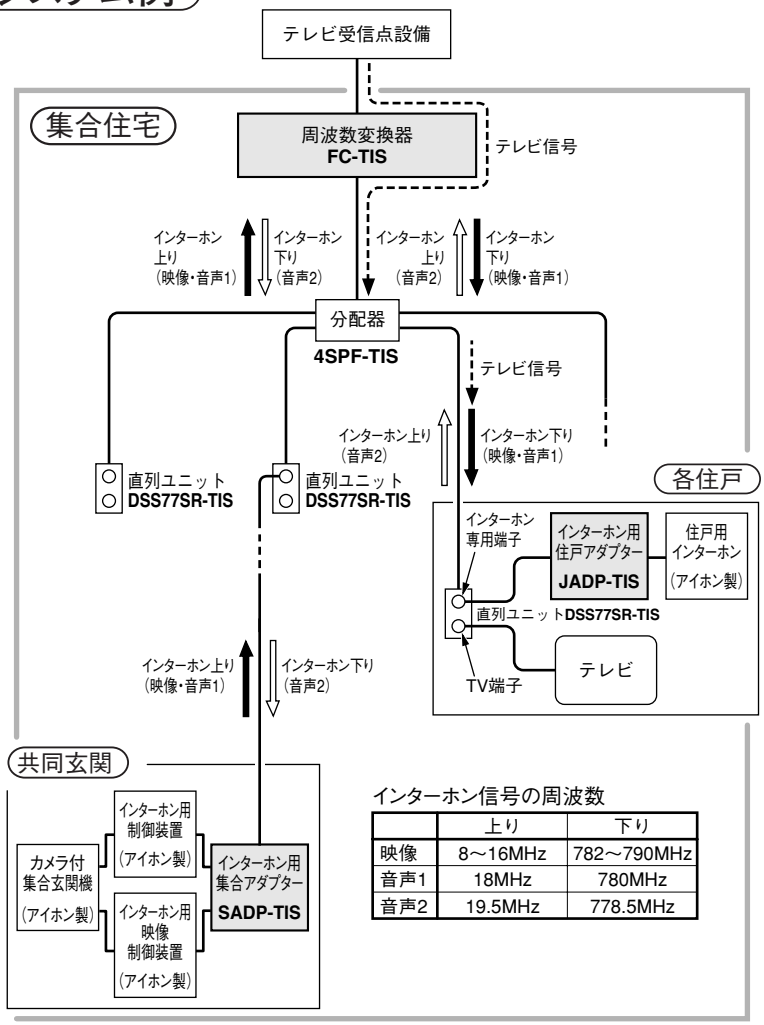
インターホン幹線のない集合住宅でも，共同玄関にカラーカメラ付集合玄関機が設置できますから，来訪者を住戸のカラーモニターで確認できます。また，オートロックも設置できますから，不審者の侵入を防ぐことができます。

（アイホン㈱製，集合住宅用テレビ共同受信インターホンシステムに対応しています。）

インターホンとテレビ共同受信を同時にリニューアル

インターホンのリニューアルと同時に，地上ディジタル放送などの最新放送メディアへの対応も可能ですから，マンションの資産価値が向上します。

システム例



インターホン信号の周波数

	上り	下り
映像	8～16MHz	782～790MHz
音声1	18MHz	780MHz
音声2	19.5MHz	778.5MHz

マルチメディアの
MASPRO
=マスプロ電工=

各部の名称と機能

周波数変換器 FC-TIS

インターホン用集合アダプター**SADP-TIS**，インターホン用住戸アダプター**JADP-TIS**から送られてくるインターホン上り信号を周波数変換します。

ご注意

利得を調整するときには，調整用ドライバーを使用してください。
無理に回すと，こわれることがあります。

ACコード（約90cm）

コードを延長するために，途中で切断して別のコードをつなぐことは，電気設備技術基準で禁じられています。

電源表示灯

変換利得調整

- インターホンで使用する帯域（下り：778～790MHz）の出力レベルを0～⊖10dBの範囲で連続して調整できます。
- 出荷時は「**MIN.**」になっています。

入力レベル調整ATT(2,4,8dB)

- インターホンで使用する帯域（上り：8～20MHz）の入力レベルを2dBステップで最大14dBまで調整できます。
- 出荷時は「**2dB**」「**4dB**」「**8dB**」になっています。

出力端子

- テレビ信号の出力端子です。
- インターホン用RF信号（下り：778～790MHz）の出力端子です。
- インターホン用RF信号（上り：8～20MHz）の入力端子です。

アース端子

出力測定端子(⊖20dB)

- テレビ信号の出力測定端子です。
- インターホン用RF信号（下り）の出力測定端子です。
- インターホン用RF信号（上り）の入力測定端子です。

入力端子

テレビ信号の入力端子です。

周波数変換器のインターホン用RF信号レベル設定

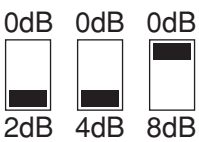
インターホン用RF信号の入力レベル設定

- インターホン用RF信号の入力レベルは，75dBμにしてください。（出力測定端子で55dBμ）
- 出力測定端子で，上り入力信号18MHzの音声キャリア信号を測定し，55dBμより高いときは，入力レベル調整ATT（2, 4, 8dB）で調整してください。
- 55dBμより低いときは，入力レベル調整ATTを「**0dB**」にしてください。

調整例

- 出力測定端子における18MHzの音声キャリア信号レベル …… 61dBμ
- 55dBμとの差 …… 61dBμ － 55dBμ ＝ 6dB
  2dBと4dBの入力レベル調整ATTを入れてください。（右図参照）

入力レベル調整ATT



ご注意

入力レベル調整ATT（2, 4, 8dB）を調整しても，出力測定端子の18MHz音声キャリア信号レベルは変わりません。

出力レベル設定

テレビ共同受信システム内で最もレベルの低い直列ユニットのインターホン専用端子で，780MHzの音声キャリア信号が，65～70dBμになるように，周波数変換器の変換利得調整で調整してください。

インターホン用住戸アダプター **JADP-TIS**
住戸用インターホン(アイホン製)をテレビ共同受信システムと接続できるようにするためのアダプターです。

インターホン用集合アダプター **SADP-TIS**
集合玄関機(アイホン製)およびインターホン制御装置(アイホン製)をテレビ共同受信システムと接続できるようにするためのアダプターです。

上面

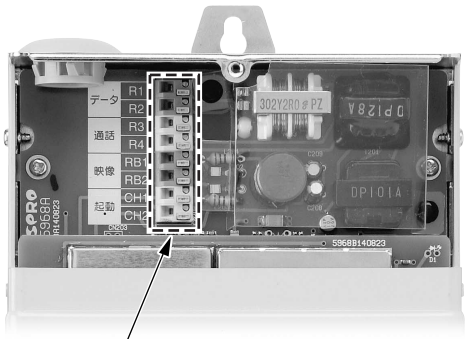
防塵ブッシュ
孔をあけて，インターホン用のケーブルを通して内部で配線します。

正面

カバー固定ビス

カバー
インターホン用のケーブルを配線するとき，取外します。
取外方法はp.5「**インターホン用ケーブルの接続**」をご覧ください。

内部 JADP-TIS



インターホン接続端子
JADP-TIS：住戸用インターホンと接続します。
SADP-TIS：制御装置と接続します。
結線方法はp.5「**結線方法**」をご覧ください。

底面 JADP-TIS（SADP-TISも同じです）

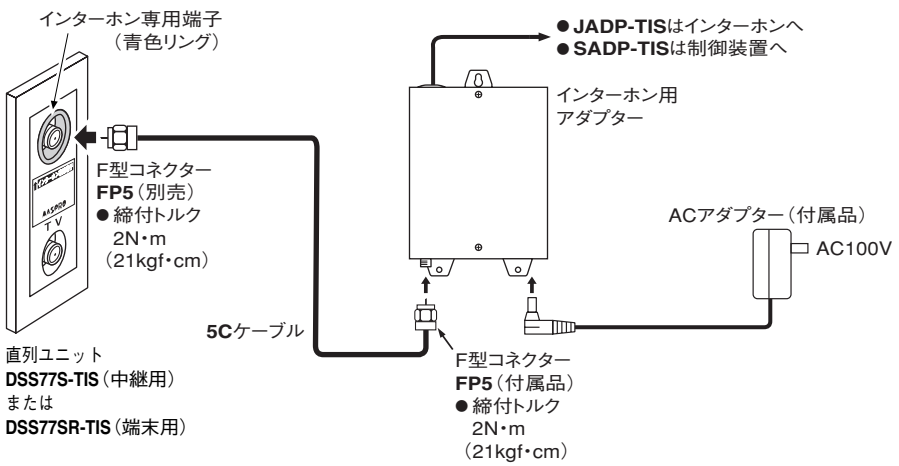
入出力端子(インターホン専用端子へ)
インターホン専用端子と接続してください。

DC12V入力端子
付属のACアダプターを接続してください。

インターホン用アダプターの接続

接続例

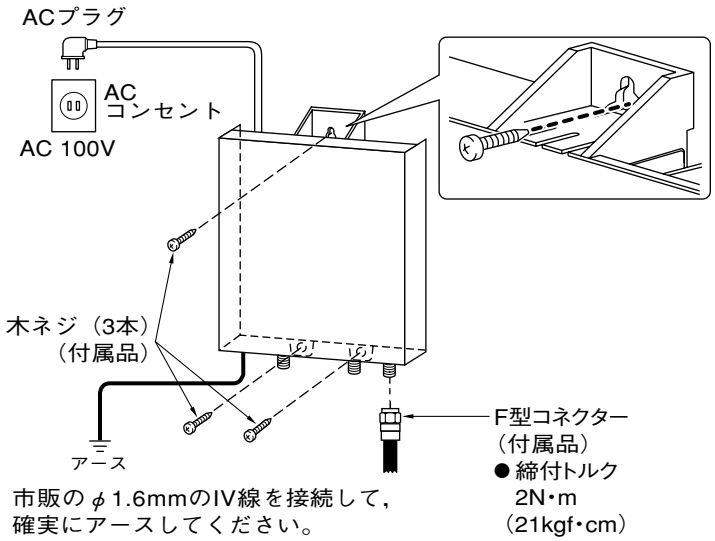
ご注意
インターホン専用端子には，インターホン用アダプター以外の機器を絶対に接続しないでください。
インターホン用の電源が加わり，故障の原因となります。



取付方法

●機器収容ボックスに取付けてください。
●機器収容ボックス内にACコンセントを用意してください。

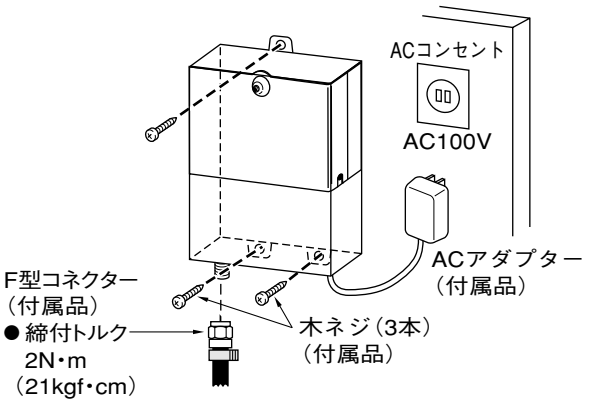
周波数変換器 FC-TIS



市販の φ1.6mmのIV線を接続して，
確実にアースしてください。

インターホン用住戸アダプター JADP-TIS

インターホン用集合アダプター SADP-TIS



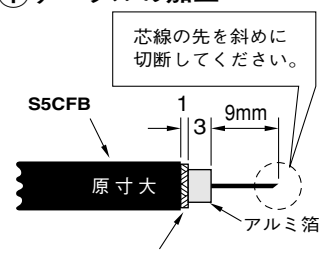
ご注意

- 周波数変換器，インターホン用アダプターは，グラスウールのような断熱材の上に置いたり，包んだりしないでください。内部温度が上昇して故障の原因となることがあります。
- 本器は屋内用ですから，雨など水のかかる場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- ACプラグ，ACアダプターは，配線工事がすべて終了してから，ACコンセントに接続してください。
- 機器収容ボックスは，内部温度が本器の使用温度範囲内になる場所に取付けてください。使用温度範囲を超えてのご使用は故障の原因となります。
- 腐食性ガス（塩素，硫化水素，亜硫酸ガス，窒素酸化物，塩素系ガスなど）が発生する環境で使用しないでください。
- 付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。故障・火災の原因になります。（**JADP-TIS**，**SADP-TIS**）

F型コネクター（5Cケーブル用）の取付方法

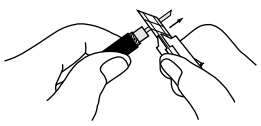
接触不良やショートを防ぐため，プラグはていねいに取付けてください。

①ケーブルの加工



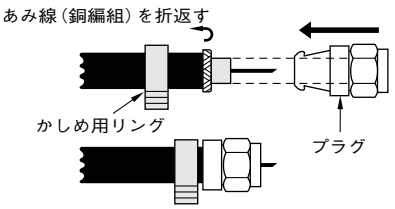
あみ線（銅編組）をニッパーまたはハサミで，
1mm残して切ってください。

②芯線には白い膜が付いていることがあります。導通を良くするために，必ず取除いてください。



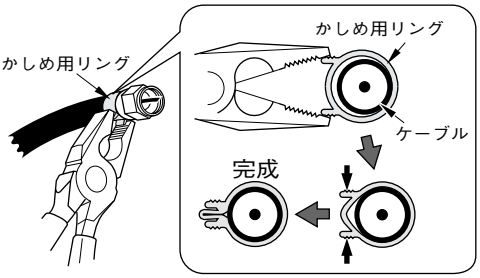
③プラグの取付け

1. かしめ用リングに，ケーブルを通してください。
2. あみ線（銅編組）を折返してください。
3. プラグを強く押込んでください。

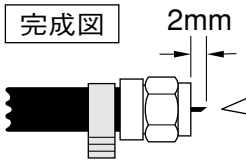


④かしめ用リングをペンチで圧着

プラグが抜けないようにプラグの根元で，しっかりと圧着してください。



完成図



芯線が長すぎると，コネクターが破損して機器が故障します。

芯線の長さは，必ず2mmにしてください。

芯線は,まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると，ショートして機器が故障します。

インターホン用ケーブルの接続

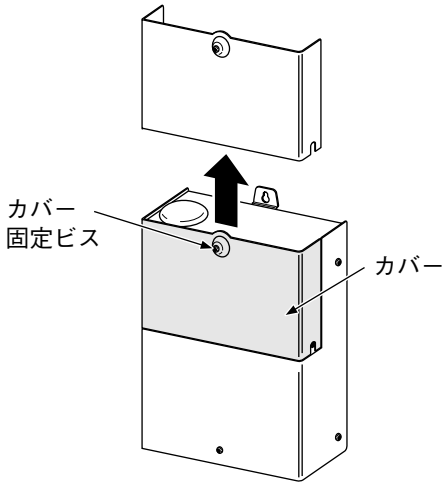
インターホン用住戸アダプター **JADP-TIS**

インターホン用集合アダプター **SADP-TIS**

1. カバーの取外し

① カバー固定ビスをゆるめます。

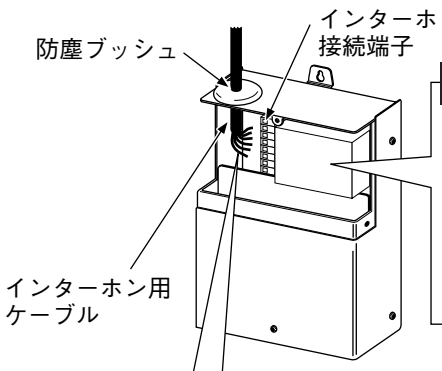
② カバーを矢印の方向へスライドさせて取外します。



2. インターホン用ケーブルの引込み

① 防塵ブッシュの中央部に先のとがった物で孔をあけます。

② ケーブルと防塵ブッシュが密着するように，インターホン用ケーブルを孔に挿入します。



ご注意

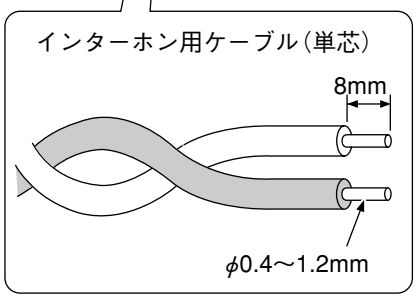
プラスチックのカバーは強度が弱いため，破損しないように注意して配線してください。

3. インターホン用ケーブルの接続

●インターホン用ケーブルは，芯線（単芯）の太さがϕ0.4～1.2mmの市販のケーブルをご使用ください。

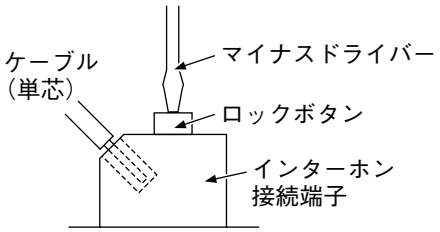
使用ケーブル

JADP-TIS：CPEV-5pr（5ペア）
SADP-TIS：CPEV-3pr（3ペア）



●ケーブルの被覆を8mmむき，インターホン接続端子に奥まで確実に差込んでください。

●ケーブルをインターホン接続端子から外す場合，マイナスドライバーで，「ロックボタン」を押しながらケーブルを引っ張ります。

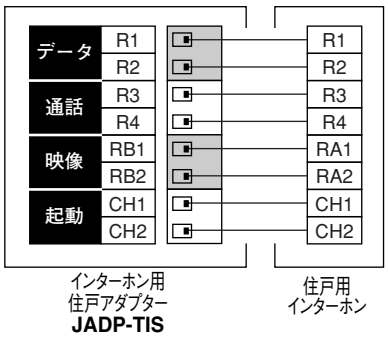


結線方法

●アイホン製の集合住宅用インターホンと接続できます。その他のインターホンでは作動しません。
●下記説明を参考にして，間違えないように配線してください。

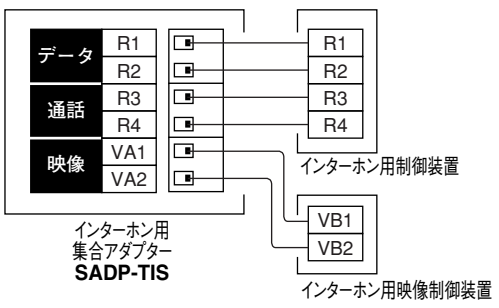
インターホン用住戸アダプター **JADP-TIS**

R1～R4，CH1，CH2は，インターホンの同じ表示がしてある端子に接続してください。
RB1，RB2はインターホンのRA1，RA2に接続してください。



インターホン用集合アダプター **SADP-TIS**

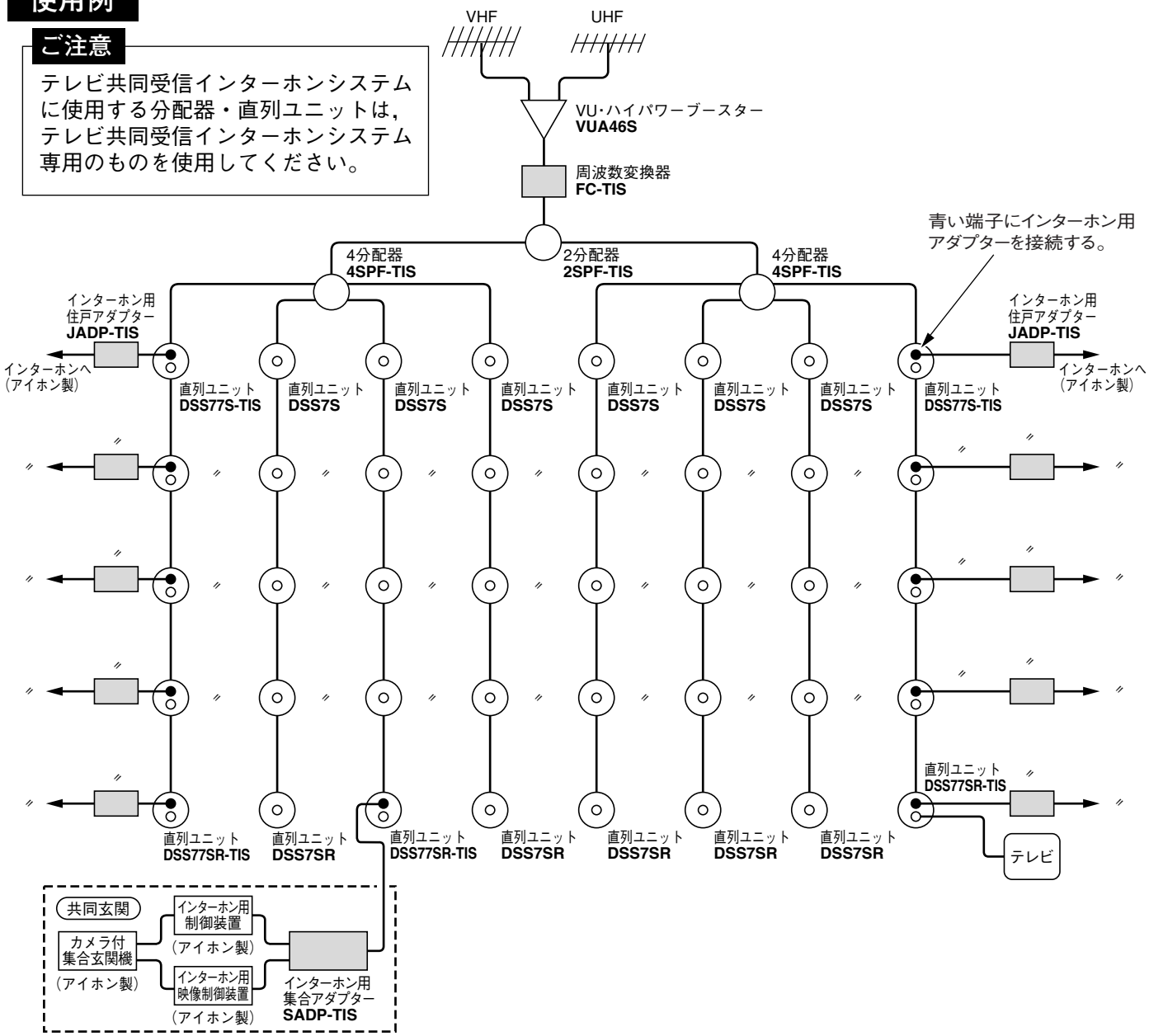
R1～R4は，制御装置の同じ表示がしてある端子に接続してください。
VA1，VA2はカラー映像制御装置のVB1，VB2に接続してください。



使用例

ご注意

テレビ共同受信インターホンシステムに使用する分配器・直列ユニットは，テレビ共同受信インターホンシステム専用のものを使用してください。



正しく使用していただくために

インターホンで画像が出ない場合，または，音声通話ができない場合，次の項目をチェックしてください。

1. 電源

規定の電圧（AC100V）が正しく供給されていますか。

- 電源電圧を確認してください。

2. ケーブルの接続

ケーブルは，それぞれの端子に正しく接続してありますか。

- 各端子とケーブルの接続を確認してください。

3. ケーブルの点検

断線またはショートしていませんか。

- ケーブルやコネクターの接続部分を確認してください。

以上の方法でもトラブルが解決できない場合，本社技術相談まで，お問合わせください。

規格表

周波数変換器　FC-TIS

MASPRO

項目	規格
受信周波数	8～20MHz
変換周波数	778～790MHz
利得	25～35dB
入力レベル調整ATT［インターホン用RF上り信号（受信信号）］	2，4，8dB
利得調整範囲［インターホン用RF下り信号（変換信号）］	0～㊀10dB以上（連続可変）
通過帯域損失	8dB以下（24～70MHz） 6dB以下（70～770MHz） 10dB以下（770～2655MHz）
電源	AC100V　50・60Hz
消費電力	約12.9W
使用温度範囲	㊀10～⊕40℃
外観寸法	175（H）×134（W）×66（D）mm
質量（重量）	約1.1kg

インターホン用住戸アダプター　JADP-TIS

MASPRO

項目			規格
RF信号	映像入力周波数		782～790MHz
	映像帯域利得		8～18dB
	音声信号入力周波数		780MHz
	音声信号入力レベル		65～80dBμ
	音声信号出力周波数		19.5MHz
	音声信号出力レベル		107dBμ
	インピーダンス		75Ω
インターホン用信号	映像出力周波数		8～16MHz
	映像出力信号レベル		77～94dBμ
	インピーダンス	映像	75Ω（平衡）
		音声	540Ω（平衡）
電源			AC100V　50・60Hz（付属のACアダプターを使用）
消費電力			約3.4W
使用温度範囲			0～⊕40℃
外観寸法			204（H）×131（W）×50（D）mm
質量（重量）			約900g

規格表

インターホン用集合アダプター　SADP-TIS

MASPRO

項目			規格
RF信号	映像出力周波数		8～16MHz
	通過帯域損失		5dB以下
	音声信号入力周波数		778.5MHz
	音声信号入力レベル		65～80dBμ
	音声信号出力周波数		18MHz
	音声信号出力レベル		107dBμ
	インピーダンス		75Ω
インターホン用信号	映像入力周波数		8～16MHz
	映像入力信号レベル		最大117dBμ
	インピーダンス	映像	75Ω（平衡）
		音声	540Ω（平衡）
電源			AC100V　50・60Hz（付属のACアダプターを使用）
消費電力			約3.1W
使用温度範囲			㊀10～㊉40℃
外観寸法			204（H）×131（W）×50（D）mm
質量（重量）			約900g

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

周波数変換器　FC-TIS

F型コネクター（**5C**ケーブル用）・・・・・・ 2個
木ネジ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3本

インターホン用住戸アダプター　JADP-TIS

F型コネクター（**5C**ケーブル用）・・・・・・ 1個
木ネジ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3本
ACアダプター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1個

インターホン用集合アダプター　SADP-TIS

F型コネクター（**5C**ケーブル用）・・・・・・ 1個
木ネジ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3本
ACアダプター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1個

MASter of PROduction
生産の覇者

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
技術相談　TEL名古屋(052)805-3366
受付時間（土 日 祝日，当社休業日を除く）
9～12時，13～17時
インターネットホームページ　www.maspro.co.jp
技術相談以外は，お近くの支店・営業所にお問合わせください。

支店・営業所

沖　縄	(098) 854-2768	熊　本	(096) 381-7626
鹿児島	(099) 812-1200	長　崎	(095) 864-6001
宮　崎	(0985) 25-3877	福　岡(支)	(092) 531-3861
		北九州	(093) 941-4026
下　関	(0832) 55-1130	津	(059) 234-0261
広　島	(082) 230-2351	岐　阜	(058) 275-0805
松　江	(0852) 21-5341	名古屋(支)	(052) 802-2233
岡　山	(086) 252-5800	工事営業部	(052) 804-6262
松　山	(089) 973-5656	豊　橋	(0532) 33-1500
高　知	(088) 882-0991	静　岡	(054) 283-2220
高　松	(087) 865-3666	松　本	(0263) 57-4625
姫　路	(0792) 34-6669		
神　戸	(078) 843-3200	福　井	(0776) 23-8153
大　阪(支)	(06) 6635-2222	金　沢	(076) 249-5301
工事営業部	(06) 6632-1144	新　潟	(025) 287-3155
京　都	(075) 646-3800		
横　浜	(045) 784-1422	郡　山	(024) 952-0095
渋　谷(支)	(03) 3409-5505	仙　台	(022) 786-5060
工事営業部	(03) 3499-5631	盛　岡	(019) 641-1500
青　戸	(03) 3695-1811	秋　田	(018) 862-7523
八王子	(0426) 37-1699	青　森	(017) 742-4227
千　葉	(043) 232-5335		
さいたま	(048) 663-8000	札　幌	(011) 782-0711
前　橋	(027) 263-3767	釧　路	(0154) 23-8466
水　戸	(029) 248-3870	旭　川	(0166) 25-3111
宇都宮	(028) 660-5008	北　見	(0157) 36-6606

2K55-740
B-53-4740-1L
MAR., 2005